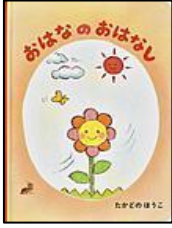


あたらしい絵本 No. 508 2025. 8. 1



『おはなのおはなし』 たかどの ほうこ／著

・つぼみだったおはながさいた。おひさまが気持ちいいけれど、カンカンでりになったり、風がふくと気持ちいいけれど、ピューピューふいたり…。大変なこともいろいろあるけれど、気づいたら、おはなは大きく成長して…。
(幼0～2歳)



『ちょうちょちょうちょ』 きくち ちき／作

・ちょうちょちょうちょ、どこからきたの？ちょうちょちょうちょ、なにしているの？素朴な問いかけにみちびかれて、ちょうちょの魅力を詩情ゆたかに描いた、特色印刷による絵本。(幼0～2歳)



『なぎちゃんがなんでにんじんのこしたか』 ネコリ・ハコリ／作

・「なぎちゃん、またにんじんのこしてるやん」幼稚園からかえってきた、なぎちゃん。お母さんにそう言われて、どうしておべんとうのにんじんをのこしたのか、そのわけをはなしはじめ…。大阪弁が小気味良い楽しい絵本。
(幼0～5歳)



『きこえなくたって』 いしい つとむ／え

・裕也は耳が聞こえないけれど、野球が大好き。プロ野球選手になる夢をあきらめたくないから、毎日練習を続け…。聴覚障がいを持ちながらも、プロ野球選手になる夢を実現した石井裕也さんの姿を描きます。(幼0～5歳)



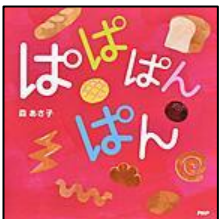
『きんぎょだいさくせん』 まつなが もえ／著

・明日は、待ちに待ったおまつり。出目金のめめたも、仲間たちと一緒にはりきっています。ところが、きんぎょ屋のおじさんが風邪をひき、かわりにめめたたちが店番をすることに。お客さんを盛り上げますが…!? (幼0～5歳)



『ごあいさつのおやくそくだもの』 わたなべ あや／え

・自分からごあいさつするのは、ちょっぴり恥ずかしいもの。でも、ごあいさつは、みんなが嬉しくなる魔法のことばです。「おはよう」から「おやすみ」まで、くだものたちがごあいさつの約束を伝えます。(幼0～5歳)



『ぱぱぱんぱん』 森 あさ子／作・絵

・ぱんぱんぱん。しょくぱん、あんぱん、かれーぱん。どうぶつぱんに、のりものぱん…。ぱんぱんぱんのリズムにのせて、手をたたこう！子どもが笑顔になるリズム絵本。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『たぶんゾウ』 たなか ひかる／著

・しかくい物体から、にゅっと出てきた鼻と手脚。見る限り、たぶんゾウ。パ
オンと鳴いているから、たぶんゾウ…。これは一体、何なのか？ お笑い芸
人、ギャグマンガ家でもある著者が、シュールで独特な世界観を描く絵本。
(幼0～5歳)



『おばけのルンとよるのどうぶつえん』 大木 あきこ／作

・町はずれの古い家に暮らす、おばけのルン。ある日の夕方、窓の外で鳥た
ちが、「夜の動物園が始まっちゃうよ!」と騒いでいました。ルンは思いきっ
て動物園にやってきたのですが…。ちょっとクールでやさしいおばけのお話。
(幼0～5歳)



『カメレオンたんてい・ドロン』

伊藤 夏紀／絵

・「図書館の本をめすむどろぼうをつかまえて」と頼まれたカメレオン探偵の
ドロン。あやしいのは、本を大切にしない図書館長のアライグマだが…。姿を
隠しているドロンを探したり、暗号を解いたりできる楽しいおはなし絵本。
(幼0～5歳)



『はじめて・りょうり トマト』 かどかわ ようこ／え

・食材をおいしく食べることが料理のきほん。それは、必ずしも複雑な過程を
経ることはありません。「しおトマト」「スイートトマト」など、やさしく
ておいしい5つのトマト料理のレシピと工程を丁寧に描きます。
(幼3～5歳)



『ぶたすけのラッパ』 柴田 ケイコ／絵

・かくれんぼをしていたぶたすけ。保育園バスの中に隠れると、ドアを閉めら
れて出られなくなってしまいました。助けを呼ぼうと頭のラッパから「ブー!」
と音を出しますが…。こどもの車中置き去り防止を願ってうまれた絵本。
(幼3～5歳)



『みっちゃんとうもろこし』 いわさ ゆうこ／さく

・とうもろこしの茎についている雌花。中にはつぶがいっぱいあって、そこか
らひげが伸びている。そこに雄花の花粉がくっつくと、つぶはぷっくり育ちは
じめて…。とうもろこしの魅力を楽しみながら伝える、おいしい野菜の絵本。
(幼3～5歳)



『ひっくりかえるだいさくせん』 竹与井 かこ／作・絵

・晴れの日が続き、池の水も減って、このままではかえるたちの住むところが
なくなってしまう!? そんな時、人間が作った“てるてる坊主”をひっくり返し
て、雨を降らせようと考えたかえるたちは…。ハートフルなユーモア絵本。
(幼3～5歳、小初、小中)



『こころのあな』 ブリジダ・マーグロ／絵

・弟が死んでから、ぼくたち家族には穴がつかまとう。この穴をどうしたらいい
いの？ 中に何があるの？ どうして弟に会えないの？ 深い喪失感や心の痛みを寄
り添うグリーフケアの絵本。(幼3～5歳、小初、小中)